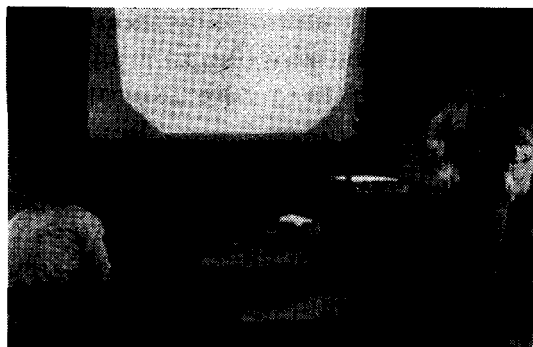


SSOR とは毎年 8 月末に開催される若手 OR 研究者の勉強会兼親睦会であり、1965年に第1回が開催されて以来、15回を数えるに至った。今年は早大が幹事役となり 8月24日～27日の4日間、伊豆サイクル・スポーツ・センター・ロッジで開催した。大地震が取り沙汰される不安な場所での開催にもかかわらず、大学、研究所等若手研究者約30名、東工大、京大を中心とする大学院生約35名、計65名の参加があった。参加者の顔ぶれも、ほぼ全回出席されている真鍋先生のような主から、初めて参加の新人までバラエティに富んでいた。幹事役のわれわれも SSOR では新参者であり、比較的型破りな SSOR となったのではないかと反省している次第である。

初期の SSOR は若手研究者の報告、討論の場の色彩が強かったと聞いているが、今回はあえて完結していかなくとも若手研究者に新たな刺激となるものを講義形式で講演していただくよう各講演者に要請し、下記の如きプログラムとした。各講演の内容は、高橋馨郎先生は「組合せ理論とその応用」(岩波書店)で公刊されており、三重野先生はOR学会研究部会で研究を発展させる等、学



会員の方々の目に触れる機会もあるが、その他の講演についても OR 誌等を通じて紹介すべく幹事として最後の役割を果たしていきたいと思っている。

第15回 SSOR も、とにかく来年度の幹事役をお引受けいただいた京都大、河合一、木村俊夫氏にバトン・タッチできる段階までできたことは、ひとえにご援助いただいた日科技連、ご協力いただいた講演者諸先生、および参加者の皆様のお陰と感謝の意を表する次第である。

(第15回 SSOR 事務局 早稲田大学

村越稔弘, 荒木 勉)

第15回 SSOR プログラム

8月25日(月)

意味情報を交換する2つの創造システム
 三重野博司(東京理科大)
 あいまいな情報の収集法に関する一考察
 広田 薫(相模工大)

特別講演

ガロア体とその情報科学への応用
 高橋 馨郎(筑波大)

Data Base Organization Schema
 中野 博信(日電東芝情報システム)
 鶴本 良夫(日電東芝情報システム)

8月26日(火)

仮想計算機システムとAPL言語
 土士 正浩(日本IBM)
 ソフトウェアのメンテナンスについて
 寺野 隆雄(電力中央研究所)

経営科学の認識と方法を巡る諸問題について
 野宮 賢(立正大)

青果物流通システムの設計・評価に対するシステム理論の適用
 天野 明夫(早稲田大)

かすかに薫るこはく色の水を傾けながら、先輩諸兄から大先生方の失敗談や逸話を伺うのはいつもながら心地よいものです。今年も講演よりは会場近くでのレクリエーションに、レクリエーションよりも夜膝を交えての語らいに熱心であった SSOR となりました。所は伊豆修善寺より右手に棚田と谷川の流れを見ながらバスで20分ほどの道のり、周囲をゆるやかな山々に囲まれたサイクルスポーツセンター。その名のとおり自転車の遊園地があり5km コースに、変わり種自転車と日頃の運動不足解消のため汗を流された方も少なくなかったと思います。

今年は講演の数が比較的少なく、1つの講演に90分の時間が割り当てられており、久しぶりに講義に出席したつもりで聞かせていただきました。登り下りのある5kmの自転車コースを回ってきて、さすがに眠い目をこすりながら聞いている学生諸君もいたようです。

冷夏が幸いして涼しい4日間でしたが、ただ1つ残念だったのは、参加者全員が集まったの懇親会の場がなく、お互いに新しい顔見知りを増やす機会がもてなかったことでした。来年の SSOR 事務局は京都大学に決まっております。これまで参加されたことのない方も1度のぞいてみられてはいかがでしょうか。

(東工大 山本芳嗣)